

図書館だより

2020 6月30日発行

第 3 号

浜寺中学校図書館 大岡正子

浜中生の皆さん、お元気ですか？昼休みの貸し出しも始まり、皆さんのお越しを待つばかり。

先号で予告した学校図書館の利用についての学習パート2です。

図書館は、大きな森の中のようなもの。その中からお目当ての宝を探すことが、図書館での楽しみの一つでもあります。ただやみくもに本棚の前をうろつくだけでは、宝は見つかりません。

初めて行く本屋さんで、ふらっと本棚のあたりを歩いていると、読みたい面白そうなタイトルと出会う幸せもあります。（今は出歩かず、アマゾンのレビューやらブックログ、読書メーターを見て本を選んでしまうので…運命的な本との出会いの楽しみが減っているかもしれません）

日本中のどこの図書館でも、同じように、ある一つの法則に基づいて本が並んでいたら、探す手

間が省けて時間の余裕が出来ますね。それを叶えてくれるのが **日本十進分類法**

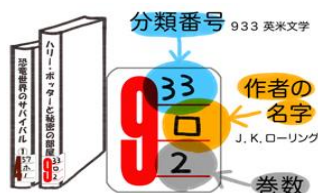
（ニホン シッシン ブンリイホウ）による分類です。すべての本の内容によって1類から9類までに分類し、どれにも当てはまらないものを0類（総記）として10個のグループにまず分けます。さらにそれぞれのグループを10種類に分け、さらに10種類と細分化していきます。

0＝総記 1＝哲学 2＝歴史・地理 3＝社会 4＝自然科学

5＝工業 6＝産業 7＝芸術・スポーツ 8＝言葉 9＝文学

この大きなグループの場所（本棚）を探して、大まかなジャンルを絞ることが出来ます。

では、9番の文学を読みたいけど、外国の小説と日本の小説と、どう分けるといいんだろう？と思いませんか？あまりにも、9番の文学だけでは、深い沼にはまったような、気がしますよね。



900番が文学。その次の930は英米文学

その次の933は英米文学の小説・物語ということで

「ハリーポッター」シリーズは「933」の分類番号が当てられます。

下の図をご覧ください。学校によって違いがありますが、浜寺中学校は三桁の数字（請求番号ともいいます）913「キュウイチサン」というふうに読みます。この数字が本の背表紙のラベルに記載されています。



例えば浜中図書館で一番冊数の多いジャンルはこの「913」です。ということは900は文学のグループ。910は日本文学。その中の913は、日本の小説・物語ということになります。

「空想科学読本」が好きな人は、何番の請求番号を探せばいいのかわかるか、考えてみてください。

自然科学だから4番、そしてジャンルによって0～9に分かれるはず……と広がっていきます。

ちなみに40は天文・宇宙だから、好きなジャンルの本は、「440」ヨンヨンゼロ。この分類番号のあたりを探すのがいいんだな～と分かっていきますよ。知っておいて損はない。広大な森の中から、1冊の本を道しるべに従って探す楽しみが増えることを願っています。

そしてご紹介が遅れましたが、図書館スタッフとして、司書の千葉さんと図書館サポーターの岩崎さんが浜中図書館を応援してくださっています。困ったことや本について聞きたい人は、どうぞこのお二人のプロフェッショナルに質問してみてください。本の森の案内人でもあります。

では、皆さん、今日はこのへんで。図書館でまたお会いしましょう！！